

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	沖縄国立大学法人施設整備に必要な経費			担当部局庁	沖縄振興局	作成責任者			
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	令和6年度	担当課室	総務課事業振興室	室長 伊藤 経人			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針、沖縄振興計画				
主要政策・施策	沖縄振興			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成27年3月末に返還された西普天間住宅跡地において、琉球大学医学部及び同附属病院の移転を中心とする、国際性・離島の特性を踏まえた、沖縄健康医療拠点の整備を進める。沖縄健康医療拠点の整備を進めることで、沖縄振興への貢献や「長寿県」沖縄の復活、国際保健(グローバル・ヘルス)への貢献に寄与することが期待される。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	琉球大学医学部及び大学病院の主要な建物を整備するために必要な経費を計上し、沖縄健康医療拠点の整備に促進することとしている。沖縄健康医療拠点の予算については、内閣府において予算計上し、文部科学省に予算移替を行い、交付する事を想定している。(10/10)								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	305	5,882	8,887	9,457	16,263		
		補正予算	-	-	5,483	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	388	1,676	-		
		翌年度へ繰越し	-	▲ 388	▲ 1,676	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		305	5,494	13,082	11,133	16,263		
	執行額		305	5,495	12,800	-	-		
	執行率 (%)		100%	100%	98%	-	-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		100%	93%	89%	-	-		
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	沖縄国立大学法人健康医療拠点施設整備費補助金	9,457	16,263	新たな成長推進枠:8,058					
	計	9,457	16,263						
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成30～令和2年度の達成状況・実績					
	本事業は、事業終了年度までに沖縄健康医療拠点の整備が完了することが目標となっている。数値で達成度を示すことは困難			【成果目標】:事業終了年度までに沖縄健康医療拠点の整備を完了させる。 【実績】:移転用地の購入完了、主要な建物の建設着工					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	4年度活動見込	
	沖縄健康医療拠点の整備進捗量		活動実績	百万円	305	5,495	12,800	-	-
			当初見込み	百万円	305	5,882	14,758	11,133	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	単位当たりのコストを算出するのは困難		単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
		計算式	-	-	-	-	-		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	9. 沖縄政策
	施策	9. 沖縄振興に関する施策の推進

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	沖縄の特性を活かした沖縄健康医療拠点の形成を目指し、地方自治体と具体化に向けた議論を進めている。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	事業の全体的把握及び関係者相互間の調整を行う必要があり、内閣府が主体となって整備することが適切である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	米軍跡地利用のモデルケースと位置づけており、国として実施すべき優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	競争性の無い随意契約となっているが契約先が一社しかないなどの理由により、妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に交付手続きを行っており、受益者との負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に交付手続きを行っており、資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助金等に係る予算執行の適正化に関する法律等の法令及び交付要綱に基づき、適切に交付手続きを行っており、費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	移転用地の敷地条件の確定等に伴う設計の見直しにより、設計業務の完了が遅れたため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	沖縄健康医療拠点の整備にむけて実施設計等が着実に進んでいる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	沖縄健康医療拠点の整備にむけて実施設計等が着実に進んでいる。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
事業関連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-

点検・改善結果	点検結果	・沖縄健康医療拠点の整備に向けて実施設計、用地取得等が着実に進んでいる。
	改善の方向性	・引き続き関係省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画に適切に反映させる。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	事業実施省庁と権限を明確化したうえで、実施省庁と連携して、事業の進捗状況を把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証すべき。
------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	事業実施省庁と連携し、事業進捗状況の的確な把握や有効性・効率性・成果についての的確な検証に努める。
------	---

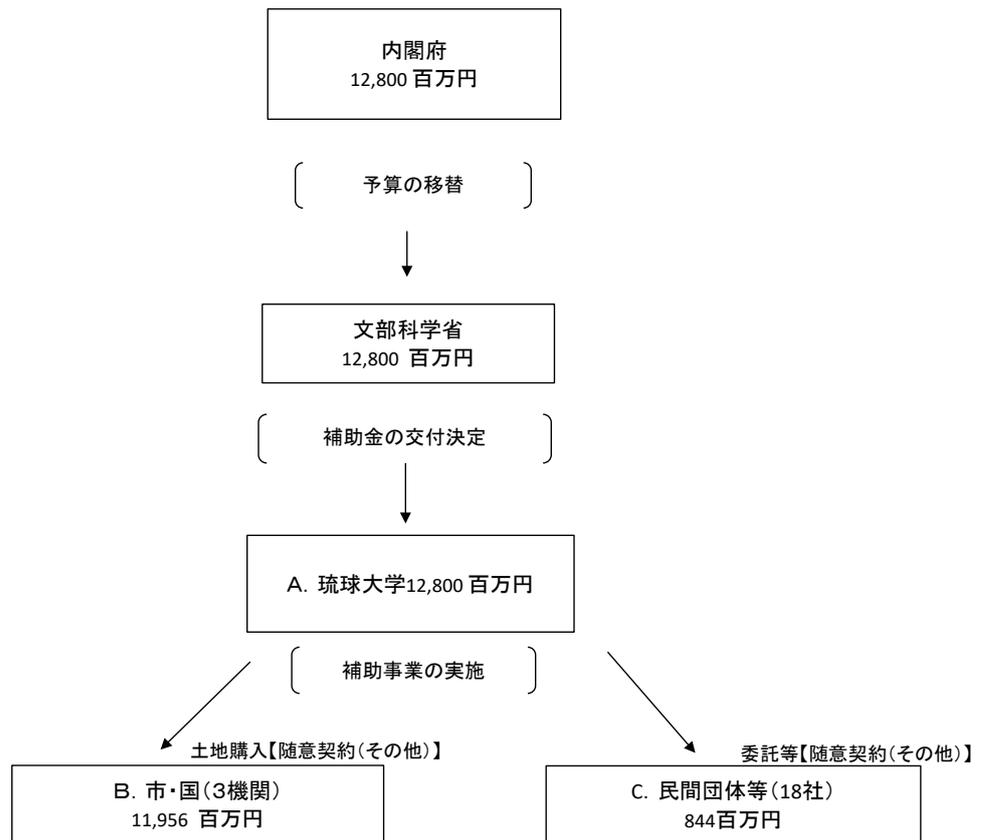
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	0014			
令和元年度	内閣府 - 0098			
令和2年度	内閣府 - 0096			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.琉球大学			B.宜野湾市		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	土地購入費	医学部及び病院移転用地	11,956	土地購入費	医学部及び病院移転用地	5,292
	役務費	設計、設計支援業務	717	-	-	-
	委託料	移転整備協議資料作成業務、実施設計関連支援業務、マネジメント業務、法律相談	66	-	-	-
	工事費	病院新営その他工事(前払い)	51	-	-	-
	人件費	非常勤職員、臨時雇用	7	-	-	-
	借料等	車両、モニター、複合機、その他	3	-	-	-
	計		12,800	計		5,292
	C.日本設計・テクノ工営・泉設計共同体			-		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
役務費	設計業務	438	-	-	-	
計		438	計		0	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人琉球大学	6360005001332	沖縄健康医療拠点事業の実施	12,800	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	宜野湾市	2000020472051	医学部及び病院移転用地購入費	5,292	随意契約(その他)	-	100%	医学部及び病院移転先の土地の所有権は宜野湾市が所有しているため
2	宜野湾市土地開発公社	1360005002590	医学部及び病院移転用地購入費	5,134	随意契約(その他)	-	100%	医学部及び病院移転先の土地の所有権は宜野湾市土地開発公社が所有しているため
3	沖縄総合事務局	2000012010019	医学部及び病院移転用地購入費	1,530	随意契約(その他)	-	100%	医学部及び病院移転先の土地の所有権は国が所有しているため

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本設計・テクノ工営・泉設計共同体	5011101036563	琉球大学医学部及び同附属病院移転整備実施設計(研究棟・講義実習棟・附属病院)業務2	215	随意契約 (その他)	-	96.8%	-
2	沖縄ガス(株)	6360001000288	琉球大学医学部西普天間地区向け中圧ガス供給に係る工事費負担金	118	随意契約 (その他)	-	100%	-
3	日本設計・テクノ工営・泉設計共同体	5011101036563	琉球大学(西普天間)研究棟等予備設計業務	102	随意契約 (その他)	-	98.6%	-
4	日本設計・テクノ工営・泉設計共同体	5011101036563	琉球大学(西普天間)先端医学研究センター等予備設計業務	92	随意契約 (その他)	-	98.7%	-
5	沖縄電力(株)	3360001008565	国立大学法人琉球大学医学部・附属病院20kV供給に係る工事費負担金(予備電源及び自家発補給電力)	59	随意契約 (その他)	-	100%	-
6	沖縄電力(株)	3360001008565	国立大学法人琉球大学医学部・附属病院20kV供給に係る工事費負担金(常時及び自家発補給電力)	59	随意契約 (その他)	-	100%	-
7	(株)システム環境研究所	7290001013750	琉球大学医学部及び病院移転整備事業関連支援業務(R3.3.31までの用務)	56	随意契約 (その他)	-	100%	-
8	清水・大米特定建設工事共同企業体	1010401013565	(西普天間)病院新営その他工事	51	一般競争契約 (総合評価)	5	85.9%	-
9	中央コンサルタンツ(株)	9180001026134	琉球大学医学部及び同附属病院移転整備実施設計(基幹整備)業務2(完成払い)	41	随意契約 (その他)	-	99%	-
10	日本設計・テクノ工営・泉設計共同体	5011101036563	琉球大学医学部及び同附属病院渡り廊下設計業務	26	随意契約 (その他)	-	98%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	C	清水・大米特定建設工事共同企業体	1010401013565	(西普天間)病院新営その他工事	21,725	一般競争契約 (総合評価)	5	85.9%	-
2	C	三建・國和特定建設工事共同企業体	6010001044155	(西普天間)病院新営機械設備工事	8,566	一般競争契約 (総合評価)	4	97%	-
3	C	関電工・照屋電気工事・南西電設特定建設工事共同企業体	9010401006818	(西普天間)病院新営電気設備工事	3,608	一般競争契約 (総合評価)	4	70.5%	-